

# 令和2年度 自己評価書

学校名	和歌山市立中之島小学校
校長氏名	太田謙二
作成日	令和 3年 2月 26日

## 1 教育目標

豊かな心と学ぶ意欲をもち、たくましく 生きる子供の育成

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県学習到達度調査で、県平均を上回る</li> <li>・分かる授業、子供主体の授業を実践できたと思う（児童・教師90%以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が楽しいと感じる（児童90%以上）</li> <li>・いじめの解消率100%</li> <li>・各学年、学期に1回、幼小交流事業を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力運動能力調査で、昨年の男女別学年別平均を上回る</li> <li>・朝ごはんを食べた（児童100%を目指す）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子をよく伝えている（保護者90%以上）</li> <li>・学校と家庭はよく連携・協力している（保護者80%以上）</li> </ul>
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎・基本の確かな定着</li> <li>◎授業力の向上</li> <li>○家庭学習の定着</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎道徳・人権教育の充実</li> <li>◎いじめの未然防止、早期発見</li> <li>○仲間づくりの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎体育科教育の充実</li> <li>◎基本的生活習慣の確立</li> <li>○運動好きの子供の育成</li> <li>○体力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎家庭・地域との連携充実</li> <li>◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進</li> <li>○地域の資源活用の推進</li> </ul>
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中之島タイムを充実させ、基礎・基本の定着に取り組んだ。</li> <li>○教職員一人一人が授業改善を行い、子供が分かるできる質の高い授業づくりに取り組んだ。</li> <li>○自学ノート等を積極的に活用し、家庭学習の定着を図るとともに、読書機会や読書量の確保にも取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別の教科道徳の授業実践を充実させた。</li> <li>○いじめアンケートを定期的実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めた。</li> <li>○情報モラルについて、児童や保護者が学ぶ機会を持った。</li> <li>○縦割り活動を計画的に実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校全体で体育科の研究実践に取り組むとともに、運動環境の整備を行った。</li> <li>○中之島チャレンジの実施やチャレンジランキングを活用し、体力の向上を図った。</li> <li>○ドラドラ貯金などを実施し、基本的生活習慣の改善に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校便りや中之島新聞の発行、HP等を活用し、学校の情報を発信した。</li> <li>○可能な限り、地域との交流活動を実施した。</li> <li>○ゲストティーチャーやボランティア等、地域の人材を積極的に活用した取組を行った。</li> </ul>
取組の結果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校アンケートで「学習が分かる」項目の割合が、児童・保護者共に昨年度を大きく上回った。</li> <li>○県学習到達度調査において、県平均を下回り、特に無回答が多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校アンケートで友達と仲良くすることができているという回答が、児童・保護者共に昨年度を上回った。</li> <li>○縦割り活動を行ったことで、異学年での関わりが増え、思いやりの気持ちや社会性などを育むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力運動能力調査は、今年度は行うことができなかったが、体育の時間を楽しいと答える児童が増えた。</li> <li>○たくさんの子が休憩時間に外遊びをして、運動に親しむことができていた。</li> <li>○100%近い児童が、朝ごはんを食べて登校できていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校アンケートの「家庭・学校の連携協力」という項目で、昨年度を大きく上回った。</li> <li>○HP等を活用し、より学校の取組を伝え、保護者や地域の方々の協力を得る。</li> <li>○幼稚園、中学校等との連携を進めていく必要がある。</li> </ul>
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識技能を活かし、児童がより主体的に学習に取り組むことができるような授業の工夫改善を図る。</li> <li>○児童が自分の考えをもち、書きまとめる時間をしっかりと確保する。</li> <li>○家庭学習をより充実させる。</li> <li>○中之島タイムを充実させ、基礎・基本を定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○縦割り活動や幼稚園との交流事業を充実させる。</li> <li>○道徳の時間を含めた、すべての教育活動を通じて人権意識を高める取組を充実させる。</li> <li>○保護者との連絡・連携を密にする。</li> <li>○情報モラル等の指導、啓発を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員一人一人が、できる分かる楽しい体育の授業実践を深める。</li> <li>○基本的生活習慣の改善のため、生活チェック機会を増やし、実態把握と指導を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園、中学校等との連携を密にし、実現可能な形で交流機会を拡大していく。</li> <li>○地域へ学校の取組を発信するとともに、児童にも地域の情報を伝える。</li> <li>○地域の方々に学校の教育活動の協力を積極的に依頼する。</li> </ul>

## 3 その他の課題

- ・新型コロナウイルスの影響で、今までのように行事等を実施できなくなり、先が見通せない中、今後でもできる形を模索して教育活動を進めていくことが必要である。
- ・全校児童が、健やかに成長できるよう、教室等の学習環境や生活環境の整備に努める。
- ・支援が必要な児童への支援体制を充実させる。